

子どもを持つ医療職向け質問:臨時休校措置のために、ご自身ならびにご家族が「よかった」と思えることをご自由にお書きください(任意)

- 息子から近隣に住む祖父母にウイルスを持ち込む心配が無さそうでよかったと思っています。
- **家族で一緒に過ごし、会話する時間が増えた。**
- 私がこどもという時間に関しては、朝がゆっくりになります
社会全体の感染症拡大をおさえる効果が最終的にあれば、役に立ったと祖父母とも喜べるかなと淡く期待してます
- 自分の仕事を早めに切り上げ、子供との時間をとれること
- 子どもと家の中でじっくり向き合う中で、ゆとりのない平時ではなかなか気づかなかった子どもの成長を発見できた
- **子どもが自主学習を進めることができる**
- 日本の国全体で他人事だったコロナウィルス感染が、他人事ではなく、一人一人感染予防に対する**意識が、向上した**のではないかと思います
- 友達と遊びに行くなど、学童以外で過ごす時間が増えた。**自主性を促す**きっかけになった。
- 登下校で公共交通機関を使用するので、**マスクが十分ではない状態での通学は不安があった**ことを考えると、休校措置も少なからず利点はあったように思う
- 電車通学だったので、休校となったことで**子ども達の感染の可能性が少なくなった**のはよかったです。
- いつもの忙しさの中で考えてこなかった事を子供と一緒に考えることができる。
一緒に読書ができる時間が増えた。
- 国家は世論とマスコミを利用してまた戦争を開始する可能性が十分ありうることがよくわかった。平和憲法が守られたとしても。
- 娘は**やりたいことをしっかりと見つめる機会**になっている。
最近不登校気味だったが、休みになったことで緊張の糸が取れたのか、むしろ笑顔が増えてよかったとおもう。
特に不満はない。
- たまたま母が一週間上京していたので、助かった。自分達は、予定ではない家事が増えるので、また、年度末で業務の締めがあり、忙しくて、よかったことはない。
ただ、2人で働くことは、収入を安定させる最大のリスクヘッジだと感じた。
- **学童以外の友達と連絡を取り合っ一緒に遊ぶ時間ができた**。本人の自主性を促すきっかけになった。
- 妻は朝はゆっくりできているようです

- **学校の先生が休めるといいと思う。**少なくとも目の前に子供がいないので、自分のペースで仕事ができる。普段先生達は早朝から夜まで働きすぎ。タイムカードもない。そんな状態で子供に優しく余裕を持って接するなんて無理。先生達にアドラーの勇気づけや潜在意識の力を学んでもらいたい。先生達に連続1週間以上の休息を。夏休みなんて、休めばいいのに、働かないほうがいいのに。休みをとることを上から指示しなければ休めない。若くやる気のある先生ほど。子供がいないとき、業務なんてしなければいいのに。自分を満たせない人に子供を満たすことはできない。先生達が自分に優しくしてほしい。
- **子どもたちが家事をする機会**になった
- このような状況になったとき、「政府を批判しない、他人のせいにしらない」そんな自分たちはトラブルへの対応力を普段から蓄えていたのだなと実感する。ただしそれは、自分、家族が健康だから言えることだとも再確認できた。
- 学校での感染リスクはなくなった。かわりに学童でのリスクはある。
- 四月から小学生になるのに際し、リスク想定ができ、リスク分散のためのサポート体制を増やした。子供の自立を促さなければと思えた。**Web会議が導入**されそうである。
- 子どもが普段できない料理などに挑戦できる。
- 臨時休校の影響か**ラッシュが緩和され通勤が楽**
- 次女の大学がちょうど春休みであったため、中学生2人の世話を娘にお願い出来たこと
- 昼間に家庭教師に来てもらい、勉強を進める事ができ、夜も余裕ができた。
- 子供たちとゆっくり話す時間がある
- コロナウイルス感染と疑われて子供が原因で休校になると申し訳ないので一斉休校はありがたい
- 二人目妊娠中切迫早産で安静であったため、上の子とゆっくり触れあう期間があまりなかったもので、この機会にゆっくり遊ぼうかと思ってます
- 強いて言えば早起しなくてよい
- 思春期でいつもあまり話をしないが、友達と話さないからか、家族と会話しだした。
- 子供と過ごす時間が増えた
- 上記は、負担、ということで記載したが、どちらかというと、自治体の対応に感謝しておりよかった点かもしれない。

- 子どもが通っている公文が、教室はお休みですが、宿題をたくさん出して下さり、丸つけをして返して下さいるので、助かります。他に積極的に良かったことは、見つかりません。ただ、国の対応としては、あながち間違っただけではないと思っています。経済活動への影響を少なく抑えつつ、人の流れを抑制するには、これくらいの措置が適当だと思います。どのような活動抑制でも、必ず何処かに(残念ですが、おおかたは女性の側に)しわ寄せは来ます。淡々と、できる工夫をしていきます。
- **よかったことはないが、非常事態なので前向きに過ごすよう努めている。**
- 普段はとれないじっくりした時間を過ごせるチャンスかなと思う。お手伝いなども平日バタバタしてやってもらえないので、じっくり教えて手伝ってもらえるチャンスかなと。あとは自主学習として色々やれると、自分できちんとやる力をつける、学習習慣を自分で管理するチャンスかなと思う。
- 良かったことは全くない
- 家庭学習がはかどるため、「個人的には」いいことのほうが多い
- **どんなときも揺るぎなく、大切なことが改めて確認できたこと。**
- 普段平日は学校と塾、休日も塾でゆっくり話すことができない高学年の息子と話ができる。家族の時間がふえる。
- 医療機関勤務者は、休校措置になっても対応しきれない。民間会社でやっているように、職場に連れてきてもいいような環境にして欲しい。
- 復習に費やせる
- 子供がやりたいことに取り組む時間がある
- 良いと思えることは特にない。
感染拡大を防ぐと言っても、現在学校内や地域ではコロナ感染はないようなので、ここまでしなければならぬのか？と疑問に感じている。
- 勉強できる時間が増えた。
- 仮に感染者が出たとして...集団感染のリスクが減ること。
- 感染の機会が減る
- 今回の措置で様々なイベントが中止になったことはよかったと思う。
- 特になし。学童も、1つあけて座れとか、ゲームを持参してひとりあそびする時間があるとか、窮屈そう
- 有給を平日に取ることで、子供達とゆっくり過ごす時間が増えた。子供達は、スケジュールを立て勉強する習慣を身につける良い機会となりそうだ。
- **子供と過ごす時間が増やせる**
- 恐らく感染の期間が減るので、安心感はあると思います。
ただ先生から外出を控える様あまり注意がなかった様で、下の学年の子たちは、こぞってお友達と遊んでいる様です。(近くに感染者が出た地域ですが...)
- 学童の先生方に感謝

- 子供達の成長につながると信じています
- 子どもとじっくり一緒にいられる時間が得られた。
- 今まで週末も勉強会や仕事の準備をしていたが、休校措置により子どもとゆっくり過ごす時間が取れた。
自転車に乗れなかった次男の練習が出来、乗れるようになった。
- 学校がなければ子供が睡眠を少し長めにとれる、読書を多めにできる。
うまくいけば自分で計画性をもって勉強するきっかけにはなる。
ただ、臨時休校だからというわけではあまりない。
- リスク管理の必要性をまざまざと感じた
- 満員電車での通学のため、子供の感染の機会が減る
- 義母の見舞いが必要な状態なので、さらに休む理由が増えたこと。
- 普段できない読書をする。家でゆっくり DVD を鑑賞できる、など
- 子供たちとゆっくり時間を共有できる。
早く早くと急かすことがなく、お互い余裕をもって過ごせる。
- 子供が外出できないので、マスクを消費しないこと
- コロナに限らず子供の感染機会が減るかもしれない。子供と過ごす時間がふえるかもしれない。
- もしかしたら子どもの自立心が芽生えるかも...もう少し子どもを信じてみようと思っ
ます。
- 子ども達が、自ら、何をしようか考え、お昼御飯を作ってみたり、掃除をしてくれたり、
案外しっかりしていると実感させていただいています。
- 意外と職場が、待遇してくれる。
- **終息に向かえば何より**
- ウイルス感染拡大の抑制になればとおもいます
- 幼稚園に通園中の娘と過ごせること。
- 感染拡大を防ぎ、特に高齢者やハイリスクの方々の感染予防し、国全体が協力して
国難を乗り切ることが出来ること。
- 感染のリスク回避
- 思いがけず家族の時間が取れた
- 学童が利用できていたすかった。
- 家族が皆集まる時間が増えた
- 長男高校生は期末テストがなくなったので、良かった言っています。
- 親子のコミュニケーションが増えた
- 制作活動に没頭できる。絵をかいたり、小物作ったりのびのびしてる。あとは家事や
ったり、料理したりチャレンジが増えた。

- 習い事も全てお休みとなり、送り迎えの時間的・体力的負担が一時的になくなっていること。
- 習い事も全部休みになったので、家でみんなでゆっくり出来る事
- 普段できないことを一緒にできる
- 時間に追われないでなぜ学校に行くのか、なぜ勉強するのか。自分が好きなことは何か。など話し合える
- 子供に役割を与える事(お皿洗い、洗濯物たたみ、掃除等)で成長を感じた。
- 習い事も休みになり、家族で過ごす時間が増えた。家族関係がよくなった。
- 会話が増えた、家事を分担できる、世界の情勢について興味が湧いた
- 感染リスクから考えると
正直 国からの要請で集団で休むのは安心である。小規模の学童というのもある。学童は1〜3年生対象なので助かる。田舎なのか学童に来る生徒も少ない。
- 上手くいけば、自分で何をすべきか子供自身が考える機会が得られる
- 家族がまとまっている。
- 子どものパスポートの申請や歯科受診のために学校を早退させたりする必要がなくなった。
- 感染したり、感染源となったりするリスクが低下したため安心した
- 子どもを死の病から守れてよかった

という、保護者や、法的根拠、「要請」の意味、エビデンスを気にしない保護者が多数おり、日本の政治や病気、感染症に対する認知度理解度の低さがよくわかり、よかった。

- 拡大を抑える効果を期待している。7月にある語学研修に行かせてやりたい。時間ができたことで、普段とは違う学びが出来ている。有事の時の対応を見ることができている。
- 学童の存在が重要性を再認。子供の心身が健やかであり、それが家族の精神を支えると気づけた。子供の学習について親が能動的に真剣に考えさせられる機会となり、実際動けた。家族間はもちろん、難局を共に戦う同士として、学校や学童保育との連帯が高まった。
- 唯一よかったことと言えば、学校、ナライコト等ほぼ無く、外でのレジャーもすくないなかで、こどもと家で過ごすゆったりとした時間を確認してみたら共有できていることは、なかなか、できない体験で考えようによれば良かったと思う。
- お弁当が毎日あり喜んでいる
- 一緒にいる時間が増え、家族の会話が増え、普段しない遊びを一緒にたくさんできること。

- 特にありません。短期間であれば、夫のテレワーク、祖父母の協力、自身の有給で対応可能
- 親子で過ごす時間が増えコミュニケーションが増えた
- 平日休みもあるため子どもと一緒に過ごせる
- 時間がのんびりとながれ、家族の時間が大切だと思えた。
- 子供とのいられる時間は少なからず増えた
- 小5のこどもにとっては母親が育休中だったのはラッキーだったのではないかと思います。
- 祖父母は他界して頼れる人は全くいないが、私が裁量労働制のため比較的働き方に柔軟性があること。
- 子どもが好きな本をたくさん読んで、画一的な学校の授業と違うことを学べた
- テストが延期になったので、たくさんテスト勉強ができる
- ある程度の年齢のため、お昼以外は、自宅で過ごせるが、隣に夫の両親がいるため、安心して仕事に行ける。